

*** 太陽分光写真儀室（オバケ）のサイデロスタットとCa K線分光器について**

太陽分光写真儀室（通称：オバケ）にあったサイデロスタットは歴史館（65cm 赤道儀望遠鏡ドーム）1階に展示されている。このサイデロスタットから導かれた太陽光の分光装置は天文機器資料館に収蔵されている。太陽分光写真儀室は現存最古の大正10年に建設された第1赤道儀室より古く、東京天文台75周年史によれば大正9年完成とある。

ところが、なぜか塔望遠鏡室が、何時の頃からか「太陽分光写真儀室」と呼称されるようになって、現在では塔望遠鏡の建物の案内板にもそのように掲示されている。塔望遠鏡の建物は、大正15年完成の建物であり、どうしてこのような間違いが起きたのか疑問に思っていた。筆者がアーカイブの仕事をして、1995年頃の国立天文台の歴史的に貴重な建物、観測施設、観測関連機器等の調査が行われた際、太陽関係者から太陽分光写真儀室（塔望遠鏡）として書類が出されているのを発見した。そして本物の太陽分光写真儀室については建物としては触れられておらず、中の観測装置のサイデロスタットとスペクトロヘリオグラフを合わせて「分光太陽写真儀」として残すべきものとして申請されている。これが間違いの出発点であろうと思われる。このスペクトロヘリオグラフはサイデロスタットと対で使われた分光器はカルシウムK線分光器である。太陽分光写真儀室にはスペクトロヘリオスコープと呼ばれた別のシーロスタットから太陽光を導いた大型の分光器があり、これについては野附誠夫先生の解説記事がある。まず、野附先生の解説記事に示されているスペクトロヘリオスコープ（図1）の図をお眼にかけよう。

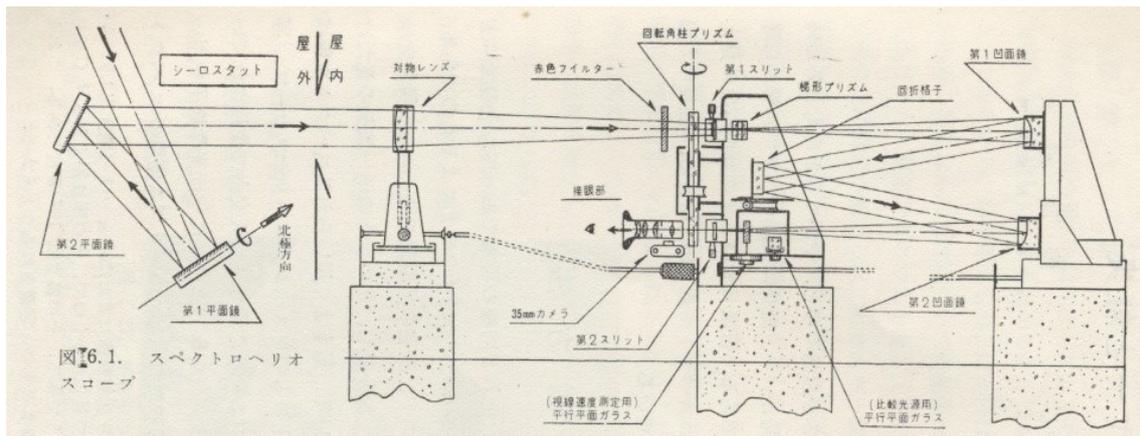


図1 スペクトロヘリオスコープの解説図

このスペクトロヘリオスコープは太陽分光写真儀室の南側にあった2枚の鏡を用いたシーロスタットから太陽光を入れている。このスペクトロヘリオスコープは図1から分かるように分光器は建物の中のピア（光学素子のコンクリート製の台）に光学機器が置かれた大型のものであるから、建物がなくなれば分光器として保管することは無理で、個々の光

陽分光写真儀室と間違え、それがまかり通るような時代になってしまった。

スペクトロヘリオスコープと対であったシーロスタットの行方も今は定かでない。探索が必要な貴重な観測器械のひとつである。スペクトロヘリオスコープは一体の分光器としては保管できるものではないから、光学素子の探索が必要である。

サイデロスタット、カルシウムK線分光器は比較的小型であったために 1 箇所にまとめて保管されていた時代もあった（写真 3）。



写真 3 サイデロスタット、K線分光器が保管されていた頃

このように保管されていた時代もあったが、筆者がアーカイブを始めた頃には、サイデロスタットは 65cm 赤道儀望遠鏡ドームの玄関の階段下の野外にブルーシートで包まれて放置されていたし、分光器は 65cm 望遠鏡ドームの階段下の倉庫に裸で埃にまみれていた。

元天文台職員の入江誠氏が、あまりに不憫だと筆者に何とかしようというので、65cm 望遠鏡ドーム 1 階の展示室に運び込み、分光器はアーカイブ室に持込み清掃し、天文機器資料館に展示した。太陽分光写真儀室にあった頃のサイデロスタットが写真 4 である。



写真 4 サイデロスタット

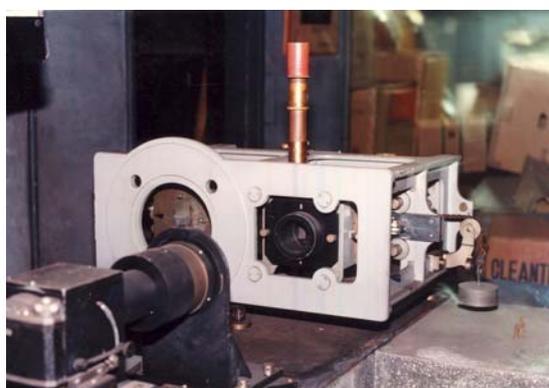


写真 5 K線分光器

写真5はカルシウムK線分光器である。この分光器は1909年、ドイツ製で名盤(写真6)には「Otto Toepfer und Sohn, Potsdam」とある。東京天文台75周年史にあるテッファ一分光太陽写真儀であろう。



写真6 カルシウムK線分光器の名盤

サイデロスタットの名盤(写真7)は非常に読みにくいですが、「GRUBB DUBLIN No 4822」と読める。これは明治42年(1909年)購入のイギリスのグラブ製サイデロスタットというものである。



写真7 サイデロスタットの名盤 GRUBBと読める

この太陽分光写真儀については、科学画報の昭和2年9月号に元東京天文台職員井上四郎が解説記事を書いており、当時の観測の様子の写真が掲載されていて、サイデロスタットと分光器の様子がよく分かる写真がある。昭和初期の観測装置がほぼ完全な形で残っていることは貴重なことである。1909年製ならば、今年で101歳である。重要文化財級の歴史的に貴重なものである。当時のサイデロスタット(写真8)、カルシウムK線分光器(写

真9) がある。

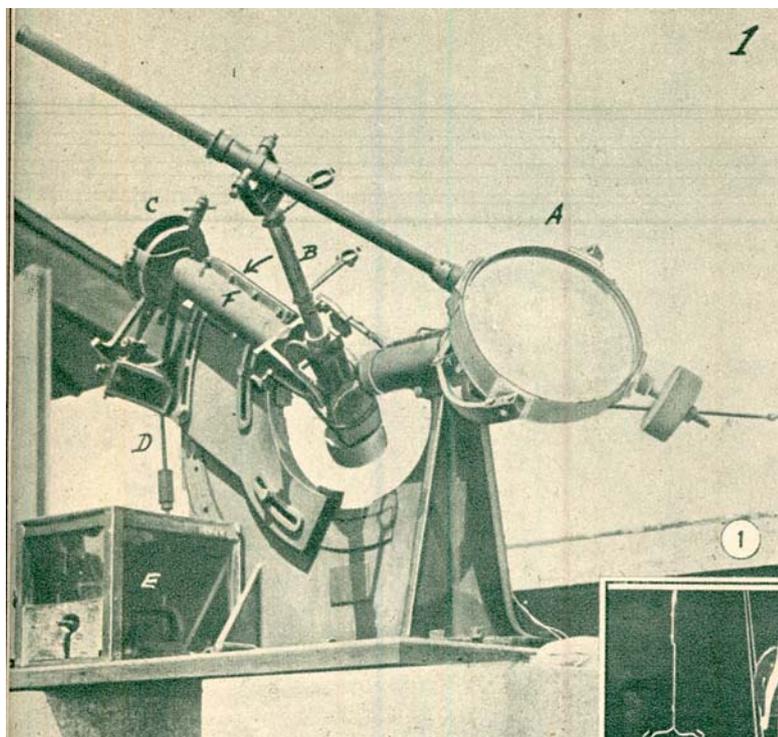


写真8 昭和2年(1927年)当時のサイデロスタット

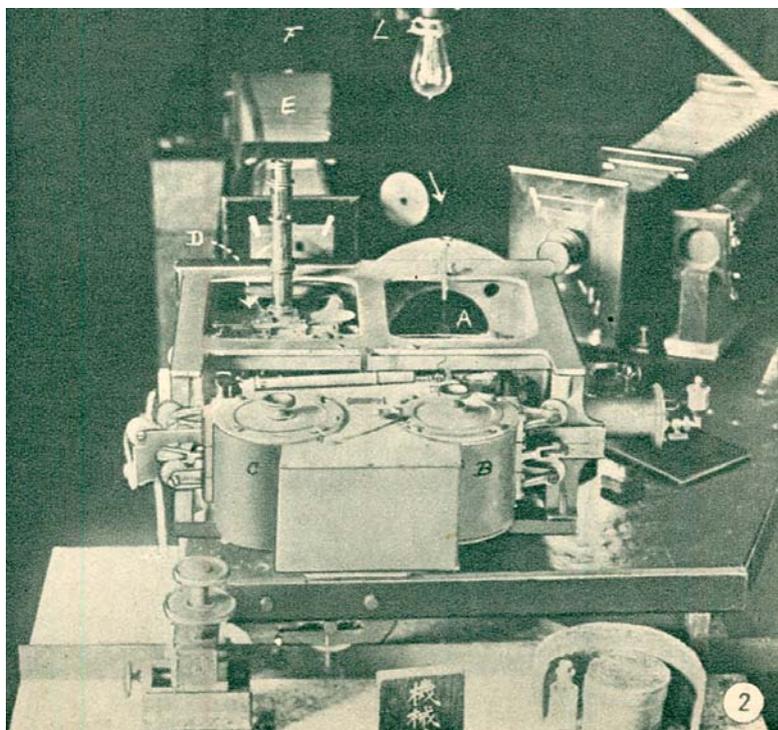


写真9 昭和2年(1927年)当時のカルシウムK線分光器